



新型コロナウイルス感染症と 認知症患者を取り巻く状況について (薬局薬剤師の視点から)

日本薬剤師会 常務理事
有澤 賢二

<これまでの状況>

- 2月中旬頃より、地域の薬局も新型コロナウイルス感染症関連の様々な対応に追われた
- 在宅療養中の患者に対しては、感染防止に配慮しつつ、薬剤師による訪問を行っている
- 外来患者に対しては、時限的・特例的な取り扱いとして、電話等での服薬指導を行うことが可能となっている(0410対応)
- その中で、認知症患者は訪問による対面での服薬指導に切り替えることも

⇒安全安心な薬物療法の提供

⇒ケアマネジャー、施設管理者、他の医療・介護関係職種との一層の情報共有、連携が重要

< 今後の対応 >

- 緊急事態宣言、ステイホームの影響で、デイサービスでは受け入れを中止せざるを得ない等、利用状況に変化があり、認知症患者は症状の悪化が懸念される
- 多職種との連携のほか、終息後にも医療・介護職を中心とした患者へのフォローが必須となる
- 感染防止対策を行いながら、薬剤師は多職種と連携しながら今後も取り組みを進める

<要望>

- グループホーム入所者や訪問系事業者には、訪問を中止せざるを得ない事業所も見受けられた
- 独居の認知症患者については、誰も訪問しない、誰とも面会しないということのないよう、多職種で連携することが重要
- 患者の心身の安定を確保するためにも、関係施設の業務が継続できるよう、十分な支援をお願いしたい